JICA東北主催
ジャイカフェ
イベント
JICA 海外協力隊

障害者が“自立生活”を選ぶ。

INDEPENDENT LIVING

インディペンデントリビング

監督：田中悠輝　プロデューサー：鎌仲ひとみ
撮影：辻井潔／岩田まき子／田中悠輝
編集・構成：辻井潔　製作：ぶんぶんフィルムズ
製作協力：全国自立生活センター協議会／自立生活夢宙センター
助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会
公益財団法人 キリン福祉財団／全国自立生活センター協議会
2019｜日本｜98分｜カラー｜DCP｜ドキュメンタリー　©ぶんぶんフィルムズ
bunbunfilms.com/filmil

田中悠輝　監督

舞台は障害当事者が運営する自立生活センター。そこは“生きづらさ”を抱えた人が“自分らしさ”を取り戻す場所。

【JICA東北主催】自立生活運動×JICA海外協力隊×インディペンデントリビング

映画「インディペンデントリビング」無料上映会＆トーク

2月3日(土)
13:30 - 16:00

開催会場
せんだいメディアテーク
7階 スタジオシアター

お問い合わせ（JICA東北）
022-223-4772
jicathic-jv@jica.go.jp

イベント内容
① 映画上映「インディペンデントリビング」
② トークショー ：田中悠輝監督×JICA海外協力隊×JOCA東北
③ JICA海外協力隊事業紹介＆応募相談

お申込みはQRから↓↓↓↓↓
申込みQR

リスクを負ってでも手にしたい“自由”がある。
自由を手にすることでしか、みつからない“自分”がいる。

物語の舞台は大阪にある自立生活センター。ここは障害当事者が運営をし、日常的に手助けを必要とする人が、一人で暮らせるよう支援をしている。先天的なものだけでなく、病気や事故などにより様々な障害を抱えながら、家族の元や施設ではなく、自立生活を希望する人たち。自由と引き換えに、リスクや責任を負うことになる自立生活は、彼らにとってまさに“命がけ”のチャレンジだ。家族との衝突、介助者とのコミュニケーションなど課題も多く、時に失敗することもある。しかし、自ら決断し、行動することで彼らはささやかに、確実に変化をしていく――。

体が動かなくても、想いが伝えられなくても、どこまでも“自分らしく”ありたい。

監督は自らも介助者として働く田中悠輝。障害当事者からの「自分たちの姿を撮って欲しい」という声を受け、自立支援の現場で3年にわたり撮影を続けた。彼らとの関わりを通して、自分自身の内に「障害者」という勝手な枠組(イメージ)があると気づいた監督が、その枠組(イメージ)を壊し、自分を、社会を、変えていこうと奮闘する人々を見つめ、“生きづらさ”を抱えた人たちが、“自分らしさを”取り戻す瞬間とその輝きを映し出す。

主な登場人物

事故で頸髄を損傷、首から下に麻痺がある。20年近く介護を担っていた母親の死を機に、自立生活を始める。

脳性麻痺と知的の障害当事者。18歳まで入所していた施設を出て、自立生活を始める。

知的と精神の障害当事者。てんかんのような発作に悩まされながら、自立生活を目指す。母親と、時に衝突が起きる。

くも膜下出血により高次脳機能障害となり、右半身の麻痺と失語症がある。自立生活を目指してセンターを訪ねる。

自立生活センターとは?

重度の障害があっても地域で自立して生活ができるように、必要なサービスを提供する事業体であり、同時に障害者の権利の獲得を求める運動体である。センターは障害当事者により運営され、身体障害に限らず、知的、精神の障害者のサポートもしている。1972年、アメリカ・カリフォルニア州に世界初の自立生活センターが誕生。1986年に日本でも初めての自立生活センターが生まれた。2019年現在、全国に121の自立生活センターがある。

2月3日(土)
13:30 - 16:00

【会場】せんだいメディアテーク
7階 スタジオシアター

随時相談受付中！

JICA海外協力隊

申込みQR